

# 帆走指示書

## 2009年度 OP級関西選手権

期日：2009年6月6日～7日

主催：和歌山県セーリング連盟、NPO 法人和歌山セーリングクラブ

後援：和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会  
和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山市体育協会

会場：和歌浦湾

### 1. 適用規則

- 1.1. 2009-2012 セーリング競技規則（以下 RRS）、日本セーリング連盟規定、当該クラス規則を適用する。
- 1.2. OP 級は赤色旗を必要とする。これは規則 61.1(a) (2) を変更している。
- 1.3. クラスルールと帆走指示書の間で矛盾する場合、帆走指示書（以下 SI）を優先する。これは RRS 63.7 に変わるものである。

### 2. 競技者への通告

- 2.1. 競技者への通告は和歌山セーリングセンターに設置された公式掲示板に掲示される。

### 3. 帆走指示書の変更

- 3.1. 帆走指示書の変更は、その日の第1レーススタートの60分前までに掲示されるものとする。ただし、レース日程の変更については発効する前日の18時までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1. 陸上で発する信号は和歌山セーリングセンタークラブハウス前のポールに掲揚される。
- 4.2. 陸上で AP 旗が掲揚された場合、レース信号の AP 旗説明文中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

### 5. 広告

- 5.1. 競技艇は主催者より広告の表示を求められることがある。

### 6. 日程

6月6日(土)

0830～0920

大会受付

0920

開会式・艇長会議

1025

OP 級Aクラス 第1レーススタート予告信号 引き続きレースを行う

1035

OP 級Bクラス 第1レーススタート予告信号 引き続きレースを行う

6月7日(日)

0925

OP 級Aクラス その日の最初のレースのスタート予告信号 引き続きレースを行う

0935

OP 級Bクラス その日の最初のレースのスタート予告信号 引き続きレースを行う

NA

閉会式・表彰式の時間は公式掲示板に掲示する。

- (a) 主催者はレース当日の朝、レースコミッティ、チーム監督、コーチ、選手間のミーティングを行う場合がある。ミーティングの開始時間は各種目の艇長会議にて決定し、公式掲示板に掲示する。
- (b) OP 級は最大4レースとする。
- (c) 当日の2レース目以降において、各クラスのスタート順を、変更する場合がある。
- (d) 2009年6月7日(日)のレガッタ最終日は全てのクラスにおいて14:00以降に予告信号を発しない。

### 7. レース数及び大会の成立

- 7.1. OP 級は7レースを予定し、大会の成立は1レースとする。

## 8. クラス旗

- 8.1. 以下のクラス旗を用いる。  
OP 級 A クラス 白地に青の OP 旗  
OP 級 B クラス 「G」旗

## 9. 予備

### 10. レースエリア

- 10.1. レースエリアは添付図 1 の通りとする。

### 11. コース

- 11.1. OP 級は添付図 2 にコース旗とレグ間のおおよその角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを左に見て通過することを示す。
- 11.2. 予告信号前もしくは同時に、レースコミッティのシグナルポートに第 1 マークまでのコンパス方位を掲示する。

### 12. マーク

- 12.1. マーク 1、2、3、4 はオレンジ色三角錐のブイとする。
- 12.2. スタート後、コースのマークが変更されることはない。
- 12.3. スタートマークはスターボードの端にあるレースコミッティシグナルポートとポートの端にあるオレンジ色の球形ブイとする。
- 12.4. フィニッシュマークはスターボードの端にあるレースコミッティポートとポートの端にあるオレンジ色の球形ブイとする。

### 13. スタート

- 13.1. スタートは RRS 26 を用いて予告信号をスタート信号の 5 分前として、スタートさせる。
- 13.2. スタートラインは、スターボードの端にあるスタートマーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポート端にあるスタートマークのコース側との間とする。
- 13.3. スタート予告信号が発せられていないクラスの艇は、スタートの Sequence が行われている他のレースのスタートエリアを回避しなければならない。
- 13.4. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は”DNS”と記録される。これは RRS 付則 A4 を変更している。
- 13.5. ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせるためレースコミッティシグナルポート以外のレースコミッティポートにも第一代表旗を掲げる場合がある。ただし、その場合、音響信号は発せられない。また、当該レースコミッティポートが行う第一代表旗の降下については、RRS 29.2「新しいスタートの予告信号は、第 1 代表旗降下の 1 分後に発する。」の意味は持たない。

## 14. 予備

### 15. レースの中止

- 15.1. RRS 32.1 を原則に、レース委員会は大きな風の変化や、風速が 5knot 以下になった場合、レースを中止することが出来る。競技者はレースコミッティのこの判断に対し救済を要求することは出来ない。(これは RRS 60.1(b)を変更するものである)

### 16. フィニッシュ

- 16.1. フィニッシュラインは、スターボードの端にあるフィニッシュマーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュマークのコース側との間とする。

### 17. タイムリミット及び目標時間

- 17.1. 先頭艇のマーク 1 までのタイムリミット及びフィニッシュまでの所要目標時間は下記の通りとする。

クラス	マーク 1 までのタイムリミット	所要目標時間
OP 級	30 分	45 分

- 17.2. マーク 1 までのタイムリミット内に 1 艇も回航しなかった場合レースを中止する。
- 17.3. 全てのクラスにおいてコースを帆走した先頭艇がフィニッシュ後、15 分以内にフィニッシュし

ない艇は審問なしに DNF と記録される。 これは RRS 35 と RRS A4.1 を変更している。

### 18. 抗議と救済の要求

- 18.1. 抗議書は、ジュリーオフィスで入手できる。抗議は抗議締切時間内に提出しなければならない。但し、プロテスト委員会の裁量により、この時間を延長することがある。
- 18.2. その日の抗議締切時間は当該クラスの最終レース終了後 60 分とする。これらの時間は公式掲示板に掲示される。
- 18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切時間後 20 分以内に通告書を公式掲示板に掲示する。
- 18.4. レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1 (b) に基づき伝えるため、公式掲示板に掲示する。
- 18.5. プロテスト委員会は RRS 42 の違反により、RRS 付則 P に基づきペナルティー履行したか、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストを抗議締切時間前に公式掲示板に掲示する。
- 18.6. SI 5、13.3、20、26 および 29 の違反は、艇による抗議あるいは救済の要求の根拠とはならない。この項は RRS 60.1 を変更している。これらの違反に対しては、プロテスト委員会の裁量により、失格以外のペナルティーが科せられる場合がある。
- 18.7. 大会最終日に審問の当事者が審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。
  - (a) 再開を要求している当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締め切時間内に。
  - (b) 再開を要求している当事者が当日に判決を通告された場合には、通告後 30 分以内に行われなければならない。この項は、RRS 66 を変更している。

### 19. ペナルティー

- 19.1. SI 18.6 に基づいて課せられた失格以外のペナルティーの得点記録の略語は DPG (Discretionary Penalty Given) とする。
- 19.2. RRS 付則 P を適用する。

### 20. 安全規定

- 20.1. 各艇の代表者はレガッタオフィスの出艇申告書にサインしなければならない。また帰着後は速やかに（抗議締切時間までに）帰着申告書にサインしなければならない。
- 20.2. ペナルティー以外の理由でレースからリタイアした艇は、帰着後速やかにリタイアの報告をしなければならない。また、可能な限りレースエリアを離れる前にレースコミッティポートにしらせること。
- 20.3. 海上では常に適当な救命胴衣（ライフジャケット）を着用しなければならない。但し、衣類の着脱等にかかわるような短時間の場合はこの限りではない。ウェットスーツおよびドライスーツは、適当な個人用浮力体と見なさない。
- 20.4. レースコミッティポート、ジュリーポートまたは SI 26 に規定される支援艇（コーチポート）は危険な状態であるレース参加艇を強制的に救助する。救助されたことによる艇からの救済の要求は認められない。
- 20.5. OP 級は、クラス規則 4.2 (a)、4.2 (b)、4.3 (a)、4.3 (b) および 3.3.4 に加えて、各艇にはブレードの面積が 0.025 m<sup>2</sup> 以上のパドルを確実に取り付け、選手は笛を救命胴衣にラニヤードで付けなければならない。この指示に従わなかった選手は、この違反が認められた各レースの得点から 5 点加算のペナルティーを受ける。

### 21. 装備の交換

- 21.1. 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は“最初の適当な機会に” レース委員会に申し出なければならない。

### 22. 装備と計測のチェック

- 22.1. 艇及び装備は、クラス規則と SI によりいつでも検査されることがある。
- 22.2. 艇は海上で SI 22.1 のため、レース委員会計測員により直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

### 23. 運営艇

23.1. 運営艇の標記は以下のとおりとする。

レースコミッティボート	白地に赤色で RC の旗
ジュリーボート	白地に赤色で JURY の旗
プレスボート	白地に赤色で PRESS の旗
レスキューボート	白地に赤で RESCUE の旗

### 24. 得点

24.1. 5 レース以上が完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外する。

### 25. 予備

#### 26. 支援艇 (コーチボート)

- 26.1. 支援艇は、各海面における全てのクラスの予告信号から、全てのクラスのレースが終了、延期、中止になるまで、レースエリアから 150m 以上離れたエリアに待機しなければならない。支援艇はレース委員会に乗員と支援艇の登録をしなければならない。
- 26.2. 支援艇は主催者が用意した緑色旗を、はっきり分るように掲揚しなければならない。
- 26.3. 支援艇はハーバー内で主催者が決めたエリアに係留しなくてはならない。
- 26.4. 支援艇は第三者賠償保険に加入しなければならない。
- 26.5. 支援艇を操縦する者及び同乗者は、いかなる時も責任を持ち、競技の公平さに影響を与えるような不適切な行動、危険な行為、不適切な行為を行ってはならない。違反した場合には関係する艇にペナルティーを与える事がある。
- 26.6. レース委員会は荒天やその他の理由により支援艇に救助の要請をする場合がある。その場合、レースコミッティシグナルボートにグリーン色旗を掲揚し各支援艇に通達する。
- 26.7. レースとレースの間、または全てのレースが延期、及び中止された時支援艇は選手に必要なサービスを提供するためにレースエリアに入ることができる。次のレースが予定されている場合はそのレースの予告信号が発せられると同時にレースエリア外に出て決められた場所で待機しなければならない。
- 26.8. 支援艇は下記を除いて電子機器を搭載してはならない。但し、支援艇に装備してある機器はレース委員会に申告し、使用できないように処置した場合に限り許可される。
- マリン VHF ラジオ (救助のみ使用可)
  - 計時装置
  - 手持ち風速計・手持ち風向計・及び手持ち GPS
  - ボートとエンジンの安全操作上に限定される電子機器 (PC 等)
  - カメラ及びビデオカメラ
  - テープレコーダーまたはデジタルボイスレコーダー
  - 電子安定装置付双眼鏡
- 26.9. 海上にいる間、支援艇は SI 26.8. で許可した物を除き、無線通信又は受信ができる機器を搭載してはならない。ただし携帯電話はこの規定に含まれない。

### 27. 賞

27.1. 各クラス参加艇数に応じてメダルもしくは盾を授与する。

- OP級Aクラス 上位3艇
- OP級Bクラス 上位3艇

### 28. 免責及び保険

- 28.1. 本選考会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS 4 参照。
- 28.2. 本選考会の主催団体等は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故 (傷害・死亡等) ならびに物的事故 (損傷・盗難等) について、その責任を一切負わないものとする。

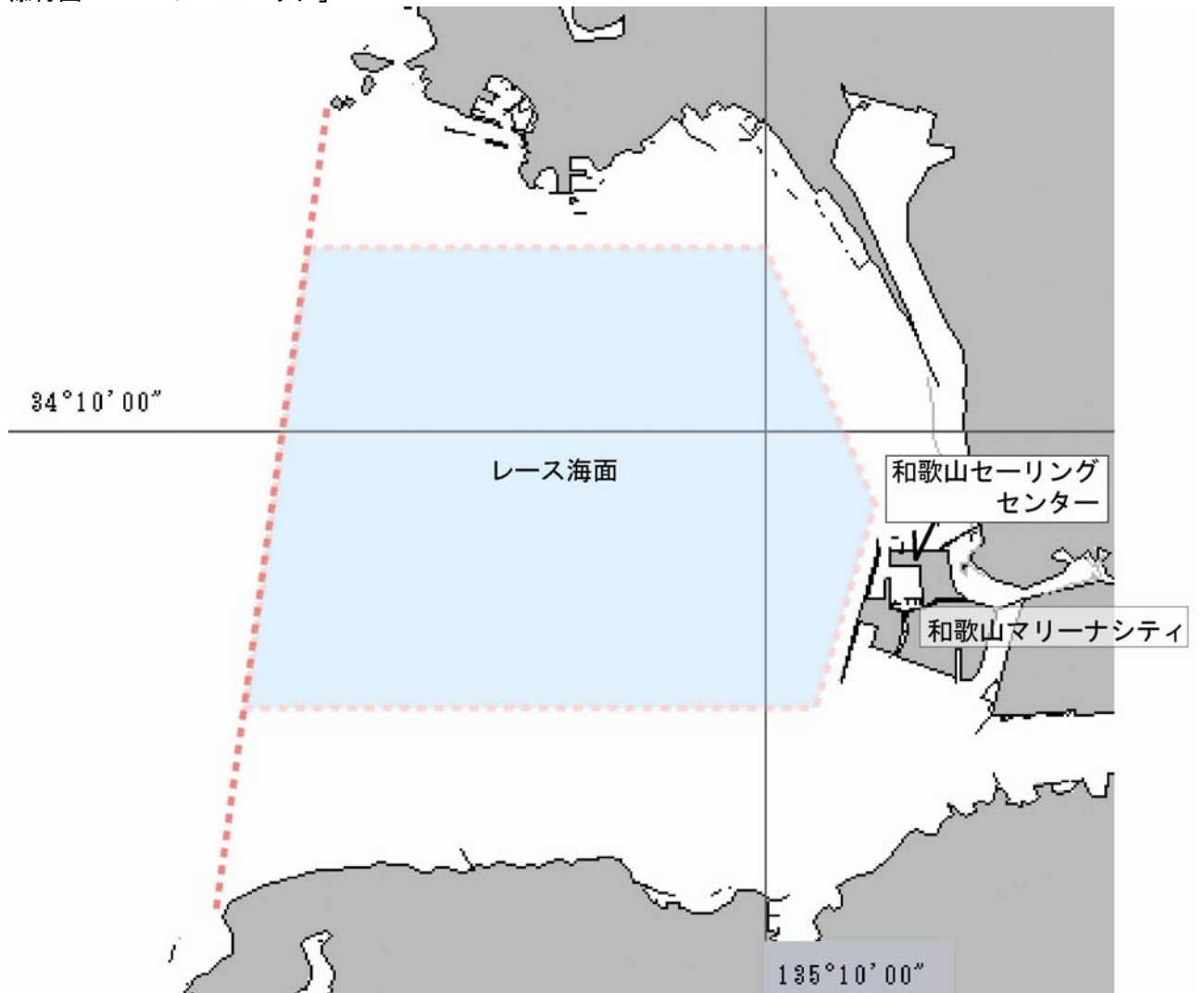
### 29. その他

29.1. ゴミを水中に捨ててはならない。ゴミは支援艇あるいはレースコミッティボートに置くことができる。

## 大会事務局

ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）  
〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地  
TEL 073-448-0251 FAX 073-494-3252  
Mail info@wakayama-sailing.org  
大会 WEB サイト（和歌山セーリングクラブホームページ内）  
<http://www.wakayama-sailing.org>  
和歌山セーリングセンター 営業時間 0900～1700 火曜日定休日

添付図 1 「レースエリア」



添付図 2 「レースエリア」

コース (クラス旗)      Aクラス  スタート→①→②→③→④→フィニッシュ

                                  Bクラス  スタート→①→②→③→④→フィニッシュ

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、  
各コースから150m以上離れること

